

<全体方針>

第二次丸亀市総合計画に基づき、豊かで暮らしやすいまちづくりを進めてまいります。また、一人ひとりの職員の能力を最大限に発揮できる環境づくりや、地域ぐるみの防災力の向上、多様な媒体を用いた積極的な情報発信などに取り組んでまいります。

<課ごとの指導方針>**広聴広報課**

市民が市政に理解を深め、まちづくりに関心を持つことができるように、誰でもが、気軽に市に対して意見を述べることができ、タイムリーで、わかりやすく、容易に手に入れることができる情報を発信することで、広聴・広報を連携させ、市が一方的に伝えるのではなく、伝わるための仕組みを作る。

ふるさと納税については企業版を含め、本市の特色ある魅力等を発信・PRし、財源確保に努めるとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、地域課題解決のために活躍する「人」に対する支援を図る。

秘書政策課

第二次丸亀市総合計画の各施策を全庁的に推進し、豊かで暮らしやすいまちづくりをめざす。また、未来を築く総合戦略に基づいた人口減少対策、第2次瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンに基づいた広域による定住施策を推進するとともに、第四次丸亀市行政改革プランに基づいた持続可能な行財政運営の構築と市民サービスの向上に努める。

市長の指示等の迅速な推進や検討を行い、各部との調整、政策や課題解決の推進を行う。また、国際交流を推進する。

職員課

職員の能力を発揮できるよう、国、県、他市、日本財団などへの派遣・人事交流を取入れることや、各種研修の受講を通じて幅広い能力開発を行い、多種多様で高度な政策課題にも的確に対応できる人材を育成するとともに、職員の規範意識を高め、市民から信頼される職員を育成する。また、事務の効率化等により時間外勤務時間を縮減し、ワークライフバランスの向上を図るとともに、女性職員の活躍の場を拡げ、推進する。

危機管理課

自主防災組織等関係機関との連携を強化し、市全体の防災力のレベルアップを図るとともに市民の防災意識の向上を目指す。南海トラフ地震を想定した指定避難所運営マニュアルを作成する。戸別受信機の導入に向けた研究を継続して行う。

平成30年度 各課の重点的取組				最終評価	
部名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	評価 (進捗結果)	所見
広聴広報課 (全庁)	★ふるさと納税の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●市の特産品をさらに発掘し返礼品に加え、全国に市の魅力を発信し、地域産業の活性化を図る。 ●インターネット及びマスメディアを活用したPRにより、歳入増を図る。 ●寄附金活用事業に子育て支援に関する事業を新たに加えるなど、効果的に全国に発信し、市の認知度を高める。 ●クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、「移住交流促進事業」を開始する。 ●企業版ふるさと納税を活用するプロジェクトを提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○寄附金額 1億円 ○企業版ふるさと納税を活用したプロジェクトを国に申請する。 	B	市内事業者等との交渉により返礼品とする市の特産品やサービスを数多く発掘することで、平成31年3月18日現在 寄附件数 7,157件 寄附金額 139,016,300円 と、当初見込みを大きく超えて推移している。 また、企業版ふるさと納税については、公募したプロジェクトのうちから、女子サッカー事業について1社から寄附の申し出があり、内閣府に申請した。 クラウドファンディング型ふるさと納税は「移住促進交流事業」について、公募し採用したプロジェクトについてクラウドファンディングを実施した。目標額50万円に対して28万円の寄附があったが、事業者から事業取り消しの届けが出され、実施に至らなかった。
広聴広報課 (全庁)	★「広報丸亀」、市ホームページ、フェイスブックの充実及び情報発信力の強化 【重点プロジェクト60】	<ul style="list-style-type: none"> ●カラー誌面、写真を増やし、情報を受け取る市民の目線で「伝わる広報」の作成を図る。 ●ホームページの内容がわかりやすく、タイムリーな情報と 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページアクセス数 平成30年度末 105万件 ○フェイスブックい 	B	「広報丸亀」はオールカラーとし、ページ数も増やしたことで、写真を増やすなど、余裕を持った誌面で、読みやすくなった。 ホームページアクセス数は「丸亀市」

		<p>なるよう管理運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●フェイスブックでイベント情報や地域の魅力等を発信する。 ●効果的な情報発信について研究し、実施する。 ●職員からメンバーを募り、「情報発信推進チーム」を設立し、広報誌やホームページの改良、SNSの効果的な活用を図る。 ●広報アドバイザーにより、広報担当、「情報発信推進チーム」及び全職員に対して、多様なメディアの効果的な活用方法などの研修を行う。 	<p>いね数 平成30年度末 2,600件</p>		<p>「丸亀城」を合わせて、2月末までで108万件。 フェイスブックいいね数は、3月18日現在で2,622件と順調に伸びているが、さらに増やしたい。</p>
秘書政策課	★第二次丸亀市総合計画の推進	第二次丸亀市総合計画の着実な推進と進行管理 (2018年度～2021年度)	○第二次総合計画の各施策の成果指標（に向けた進捗）	C	第二次総合計画の重点プロジェクトを部の重点課題に位置づけ、推進と進行管理を行っている。
秘書政策課	★行政評価の実施と手法の検討	●各施策や事務事業等のPDCAサイクルにおける評価、評価基準等の改善と手法の検討 行政評価委員会協議等	○外部評価等	C	事業評価及び施策評価を分かりやすい同一の基準に見直した。また、主要施策の成果に関する報告書の款項目順への見直しとあわせて1次評価を別冊とし分かり易く整理した。

秘書政策課	★第四次丸亀市行政改革プランの推進 【重点プロジェクト68】	●第四次丸亀市行政改革プランの着実な推進と進行管理 (2018年度～2021年度) 行財政改革特別委員会報告 行政改革推進委員会報告	○第四次行政改革プランの各取組予定 (に向けた進捗)	C	行財政改革特別委員会に取組全体を説明するとともに、特別委員会が指定した取組に対し関係部課が説明を行った。民間活力の活用について関係課とヒアリングを行い、可能な業務は31年度から委託等を行った。
秘書政策課	★丸亀市未来を築く総合戦略の推進	●丸亀市未来を築く総合戦略の各施策の着実な推進と報告 (平成27年度～平成31年度) 未来を築く地域戦略会議協議等	○丸亀市未来を築く総合戦略の各施策の成果指標 (に向けた進捗)	C	未来を築く地域戦略会議において、昨年度の取組の成果及び本年度の進捗等について意見をいただき進行管理を行った。
秘書政策課	★瀬戸内中讃定住自立圏形成の推進 【重点プロジェクト66】	●第2次定住自立圏共生ビジョンの各施策の着実な推進と進行管理 (2017年度～2021年度) 定住自立圏ビジョン懇談会協議等	○第2次定住自立圏共生ビジョンの各施策の成果指標 (に向けた進捗)	C	2市3町の政策担当課による事務調整会議、首長による形成推進委員会、有識者等によるビジョン懇談会を開催し、昨年度の取組の成果及び本年度の進捗等について意見をいただき進行管理を行った。
秘書政策課	★丸亀市教育大綱の推進	●教育委員会と連携した教育大綱の推進や課題等の解決 総合教育会議協議等	○定例の教育委員会等にあわせた総合教育会議の開催と課題解決	C	定例の教育委員会の日程にあわせて、教育的な課題について市長と教育委員会が意見交換し課題解決に向けた方向性等の確認を行った。
秘書政策課	★最適な組織機構の検討	●組織機構の課題整理、効率化や課題解決等を踏まえた組織機構の検討	○最適な組織機構	C	現組織についての課題等について全部課に対しヒアリングによる意見聴取を行い、緊急課題及び業務移管による見直しを行った。

秘書政策課	★市長指示や各部の課題解決等の推進・検討・調整	●秘書機能と政策推進機能の連携、各部課との調整等	○各政策や課題解決の推進	C	待機児童対策や石垣崩落対策等の重要課題や市長指示等の推進、庁内連携、調整等を行った。
秘書政策課 (広聴広報課) (人権課) (福祉課) (教・総務課) (学校教育課)	★次世代に戦争被害の実相と平和の尊さを伝えていく。	●市民の方や団体等の協力のもと、さらなる啓発事業を実施し、反核平和について考える機会の設定	○市民の方から提供のあった戦争体験記等の広報紙への掲載 ○平和パネル展等の開催 ○戦争体験講話会の開催	C	○「私の戦争体験談」の掲載 ・広報6月号「戦傷病者として16回の手術に耐えて」 ・広報8月号「38歳で父は出征 戦死 かの大战で 皆逝った」 ・広報12月号「五分間の決断「特殊潜航艇『蛟龍612号艇』横井順一の手記」」 ○平和パネル展等の開催 (1)「私の戦争体験談」揭示 ・7月17日～31日 市役所ロビー ・9月24日 アイレックス(文化交流祭) ・11月18日 生涯学習センター(戦没者追悼式) (2)「次世代に伝えたい戦争の記憶展」 ・7月21日～9月17日 資料館 入場 4,178名 (高校生以下540名 大人3,638名) ・7月29日 同展示解説 参加 25名 ・8月8日、19日 「親子で学ぼう!戦争の大型紙芝居」

					<p>参加 60名</p> <p>○戦争体験講話会の開催</p> <p>・8月9日、15日</p> <p>参加 68名（小学生35名 大人26名 その他7名）</p> <p>上記のとおり、次世代につなげていくため、それぞれ啓発事業を予定どおり行った。</p>
職員課	★定員適正化計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ●再任用職員を含めた職員数管理 ●類似団体、県内各市との比較 	○定員適正化計画の策定	C	市議会（全員協議会10/5、1/31）、庁議、職員組合にて意見を聴取し、平成31年3月22日に完成した。
職員課	★職員手当の見直し	●特殊勤務手当の項目や支給水準など、全般的に見直しする。	○特殊勤務手当条例の改正	D	特殊勤務手当については、改正を検討し、職員組合との協議を行ったが、先に締結した協約があること、また、類団との比較で、財政面に影響のある際立ったものがないこと、などにより改正を見送った。
職員課	★優秀な人材の確保と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広い採用試験の実施 ●丸亀市人材育成基本方針を踏まえた人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○受験者数の確保 ○人材育成手法の見直し ○女性活躍を支援する研修の充実 	B	<p>土木技師・建築技師の採用試験について、試験日程の工夫や受験資格の表記を見直すとともに経験者枠試験を実施したことで、受験者及び採用者（土3人・建1人）を確保できた。</p> <p>人事評価については、昨年度に課題となった業績評価の難易度設定について指針を示し、より適切に制度運営できるように努めている。</p>

					一般事務職女性管理職員の割合は、H29.4月には20.4%であったが、H30.4月には22.4%となっている。
職員課	★ワークライフバランスの推進及び職場環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ●ノー残業デーの徹底 ●事務効率化に向けた改善 ●時間外の縮減 ●男性の育児休業取得促進 ●ハラスメント対策の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間外を前年度実績から5%縮減 ○事務改善に向けた職員提案 ○育児休業制度の周知 ○各種ハラスメントの相談窓口の設置 	D	<p>定員管理ヒアリングを通して、各所属の実態把握と時間外削減に取り組んでいるが、今年度は、台風対応が多かったこともあり、各所属の時間外の実績合計は2月末で約3.2%増となっている。</p> <p>職員提案については、全庁的な取組みとして、業務の効率化を推進しており、各課において実施を促進している。</p> <p>男性職員1名が、育児休業を取得しており、少しずつではあるが、男女共同参画の組織風土づくりが進んでいる。</p> <p>ハラスメントについては、例規を整備したことにより、体制の強化につながったものと考えている。</p>
職員課	★職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ●健康診断や健康相談フォローアップの充実 ●ストレスチェックによるメンタル対応の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○要精密検査又は要医療者数を前年度実績から、5%改善する。 	D	<p>要精密検査又は要医療者数割合は、前年比で0.9%増加しており、計画通りの成果がでていない。</p> <p>今後は、検診後の保健指導を利用促進し、健康状態の改善を図るとともに、引き続きストレスチェック及び職場環境の改善に取り組んでいきたい。</p>
危機管理課	★危機管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●防災行政無線の適切な運用と活用を図ると共に安定的で 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災行政無線の保守及び適正な管理運 	C	<p>同報系、移動系あわせて54箇所について年1回の保守点検を行う。</p> <p>Jアラート受信機更新完了。</p>

		<p>確実な情報伝達手段について、調査研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●戸別受信システム導入に向けて、防災ラジオ設置についてのアンケートを実施する。 ●市内の主要河川の新たな浸水想定周知 	<p>用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戸別受信システムに係る情報収集 ○ハザードマップの作成及び配布、広報紙での周知、広報 		<p>11月中にアンケートを実施した。結果については内部資料として今後の戸別受信システム導入に向けての参考資料とする。</p> <p>県の新たな浸水想定が遅れている。公表が新年度ずれ込む為、繰越事業として、公表され次第作成、配布に取り掛かる。</p>
(全庁)	★地域防災力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●職員防災訓練については、業務継続計画の検証も含め、各部・課及び職員各人の対応を考えて行うような、より実践的な訓練となるよう検討を進め、職員の災害対処能力の向上に努める。 	○職員防災訓練 [11月18日]	C	<p>予定通り訓練を実施した。訓練参加者の感想は、実践的訓練ができた等の意見が多く概ね良好であった。</p>
	(自主防災組織の体制強化) 【重点プロジェクト27】	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティが主体的に行う防災・減災対策の様々な取り組み並びに防災士の資格取得に対し、助成を行う。 ●自主防災会等連絡協議会における相互連携、研修等により、地域防災力のレベルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティの防災・減災対策への助成実施及び防災士資格取得助成(10名) ○自主防災会等連絡協議会における研修 	C	<p>市の助成により7名が防災士資格取得したが、最終的に目標を下回った。</p> <p>12月に阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」において、地域担当職員及び危機管理課併任兼任職員との合同視察研修を行った。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ●避難所ごとの運営マニュアルの作成支援を行い、次いで地区防災計画の策定支援に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営マニュアルの作成 		<p>7月に作成し、関係機関（各課及び指定避難所等）に対して配布説明を実施した。 ホームページにおいて公開中。</p>
危機管理課	災害時の自助による減災対策	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模災害時における被害軽減対策への取組。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家具転倒防止器具設置支援補助金（40世帯） ○出前講座等による啓蒙啓発活動他各種制度の周知 	C	<p>近隣ホームセンターに対して啓発依頼。20世帯（前年度3世帯）に対して補助を行なった。</p>